

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

ノーベル賞受賞 100 年記念
「アインシュタイン展」

主催 福岡市科学館 読売新聞社
後援 日本化学会
会期 3月12日(土)9時30分～5月29日(日)18時

開催方式 対面式

会場 福岡市科学館(福岡市中央区六本松4-2-1) [交通] 福岡市営地下鉄「六本松」駅、バス「六本松」バス停すぐ

参加申込締切 なし

20世紀最高の物理学者と称される、アルバート・アインシュタイン(1879～1955年)は、20世紀前半に相対性理論やブラウン運動の理論などを提唱、光電効果の理論的解明によって1921年のノーベル物理学賞を受賞しました。その受賞100年記念として企画された本展は、アインシュタインの科学理論や日本とのつながりについて、国内外の貴重な資料や、体験装置、ゲーム、科学玩具を通して、子どもから大人まで楽しみながら学べる内容です。また、没後に多くの個人資料の寄贈を受けたヘブライ大学(イスラエル)の特別協力を得て、アインシュタインゆかりの品も展示し、幼少時の挫折体験や晩年の平和活動など、深みのある人間性にも焦点をあてます。

参加費 当日：大人1,200円、高校生900円、4歳～中学生700円

参加申込方法 郵送等

申込先・問合先 810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1 福岡市科学館(チケットをお買い求め下さい) 電話(092)731-2525 <https://einstein-fukuoka2022.jp/>

大学生・大学院生向けの
企業研究者とのオンライン座談会

主催 日本化学会産学交流委員会人材交流小委員会

会期 5月13日(金)15時～16時45分

開催方式 オンライン

参加申込締切 定員(20名)に達し次第

科学技術で生き残りを図る日本においては、科学技術を推進する原動力、イノベーションの担い手として、アカデミアのみならず産業界においても高度な知識と研究開発力を持った人材が、変革の時代を迎える今こそ必要です。本企画は、「企業で研究者になるために必要なことは?」、「今の研究をどう活かす?」を知るため、企業の研究者に質問し答えてもらうことで、あなたの将来を考えるオンライン形式の座談会です。

対象 学生

(予定)

1. 開会挨拶(神奈川工大・人材交流小委員会)高村岳樹
2. 話題提供「企業が求める研究者とは?」(花王・人材交流小委員会)矢作和行
3. 企業研究者自己紹介
齋藤朱里(花王)、高橋裕紀(ニコン)、渡辺訓江(ブリヂストン)
4. 座談会
5. 閉会挨拶(花王・人材交流小委員会)矢作和行

参加費 無料(ただし、日本化学会会員に限る)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 日本化学会 企画部 矢部
E-mail: sangaku@chemistry.or.jp <https://www.chemistry.or.jp/event/calendar/2022/03/zadanki202205.html>

日本化学会九州支部
2022年度第1回講演会

主催 日本化学会九州支部

会期 5月13日(金)15時～17時30分

開催方式 オンライン

参加申込締切 5月9日(月)

1. 三浦雅博(日本化学会)
2. 村口良(日揮触媒化成)
3. 富永昌人(佐賀大)

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 819-0395 福岡市西区元岡744九州大学 W1-A920 日本化学会九州支部
電話(092)802-4130 E-mail: qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp <https://kcsj.jp/>

日本ゾルゲル学会
第19回セミナー

—ゾルゲル法とガラス・非晶質材料
—国際ガラス年2022—

主催 日本ゾルゲル学会

協賛 日本化学会

会期 5月24日(火)10時～17時

開催方式 オンライン

参加申込締切 5月16日(月)

2022年は、国連の定める「国際ガラス年2022」の年です。2022年第19回セミナーでは、液相法を中心とする手法によるガラス・非晶質材料の合成や応用に関する最先端の研究に関して5名の先生方にご講演いただきます。

1. ゾルゲル法を用いた機能性ガラス合成(都立大)梶原浩一
2. ケイ酸塩系無機バインダを用いた高性能Si負極の開発(大阪産業技術研)斎藤誠
3. Nanomaterials for Green Buildings Design and Construction in hot climate(暑熱地域における省エネルギー向けナノ材料研究)(National Univ. of Singapore) Shah Kwok WEI
4. 電池材料を指向した液相法による機能性粒子へのコーティング(北見工大)大野智也
5. メタロ超分子ポリマーを用いたエレクトロクロミックデバイス(物質・材料研究機構)樋口昌芳

参加費 日本ゾルゲル学会会員3,000円、日本ゾルゲル学会学生会員1,000円、日本化学会会員3,000円、日本化学会学生会員1,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院 応用化学部門無機合成化学研究室内 日本ゾルゲル学会事務局 忠永清治 電話(011)706-6572 E-mail: jpn.sol-gel@eng.hokudai.ac.jp <https://www.jpn-sol-gel.org/index.html>

html

東京大学三井不動産
産学協創シンポジウム

—分子構造解析が拓く新学術と新産業—

主催 東京大学国際オープンイノベーション機構 三井不動産

後援 日本化学会

会期 5月27日(金)13時～17時45分

開催方式 オンライン

参加申込締切 5月27日(金)

オープンイノベーション拠点「FS CREATION」の開設記念シンポジウムを開催します。「統合分子構造解析ラボ」の構想のほか、分子構造解析の価値と社会実装について複数の講演をご用意しています。

東京大学×三井不動産「統合分子構造解析拠点FS CREATION」とは「三井リンクラボ 柏の葉1」に2022年4月に開設された、「統合分子構造解析」を主軸とする本分野における世界唯一のオープンイノベーション拠点。ウルフ賞受賞など世界をリードする東京大学・藤田誠卓越教授と佐藤宗太特任教授を中心とするアカデミアグループと、国内3大分析装置メーカーを中心とする民間企業が参画しています。

・藤田 誠(東大・分子科学研)

・佐藤宗太(東大社会連携講座「統合分子構造解析講座」)

・島津製作所

・日本電子

・リガク

1. 主催・共催よりご挨拶

第一部 日本発・世界初の統合分子構造解析拠点

2. 藤田 誠(東大院工)

3. 栗原権右衛門(日本電子)

第二部 基礎科学が生み出す価値とその社会実装

4. 菅 裕明(東大院理)

5. 野地博行(東大院工)

6. 馬場健史(九大生体防御医学研)

7. 佐藤宗太(東大院工)

8. 山下和則(三井不動産柏の葉街づくり推進部)

9. リンクラボ バーチャル見学

10. 閉会挨拶(東大院工) 染谷隆夫

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻 社会連携講座「統合分子構造解析講座」<https://satolab.t.u-tokyo.ac.jp/featured/symposium2022/>

第39回無機・分析化学コロキウム

主催 日本化学会

会期 5月28日(土)9時～17時

開催方式 オンライン・対面併催

会場 東北大学青葉山キャンパス・理学研究科大講義室 [アクセス] <https://www.sci.tohoku.ac.jp/campusmap/> (campusmapのH-32の建物) [交通] 仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅より徒歩約5分

参加申込締切 定員 (100名) になり次第 招待講演

1. ミュオン触媒核融合反応の新展開 (東北大院理) 木野康志
2. 反応性金属クラスターの合成と触媒開発へのアプローチ (福島県医大) 田辺 真
3. ケイ素クラスターとは何か (群馬大院理工) 久新莊一郎
4. 分子低次元系の新展開 (東北大院理) 坂本良太
5. ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦 (東大院工) 西林仁昭

依頼講演

1. 単一粒子分光分析による大気中の多相反応過程の動態解明 (東北大多元研) 玄 大雄
2. ガス応答を示す発光性配位高分子を用いた励起状態ダイナミクスの制御 (東北大金研) 芳野 遼
3. クロム-ケイ素三重結合を持つ錯体の創製と新たな分子変換への挑戦 (東北大院理) 松岡正統
4. 遷移金属酸化物の原子配列と電気伝導性の相関 (東北大院理) 松本倅汰
5. 三重鎖形成ペプチド核酸プローブによるRNA二重鎖構造検出 (東北大院理) 西澤精一

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先 HP (<https://forms.gle/75cUmyEQKYP8EAN7>)

問合せ 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 理学研究科合同C棟 N607 東北大学大学院理学研究科化学専攻 長田浩一 電話 (022) 795-6540 E-mail: koichi.nagata.d3@tohoku.ac.jp

界面コロイドラーニング

—第38回現代コロイド・界面化学基礎講座—

主催 日本化学会コロイドおよび界面化学部会

会期 6月2日(木), 3日(金)

開催方式 オンライン

参加申込締切 定員になり次第

界面・コロイド化学は、洗剤・化粧品から、医薬品、最先端の電子材料まで、様々な工業製品において重要な役割を果たしています。本講演会は、特に若手社員や新たにこの分野の知識を必要とされる方々に、界面・コロイド化学を2日間で基礎から幅広く学んでいただくための集中講義です。昨年度と同様にオンラインでの開催となりますが、好評のオンライン質問コーナーを引き続き行います!

6月2日(木)

1. コロイド・界面科学—表面張力と表面積が織りなす世界 (山形大) 野々村美宗
2. 基礎からの界面活性剤 (奈良女大) 吉村倫一
3. 乳化の基礎 (資生堂) 岡本 亨
4. 微粒子分散系の分散・凝集の基礎(武田コロイドテクノ・コンサルティング) 武田真一
5. 有機・無機ナノ粒子の製法と基礎物性(北大) 米澤 徹
6. 固体表面・細孔空間での現象(信州大) 飯山 拓

6月3日(金)

7. 高分子とゲルの基礎: 高分子の界面化学 (関西大) 宮田隆志

8. 生体膜系における界面コロイド科学 (京大) 秋吉一成
 9. 界面活性剤多成分溶液系における相図の見方と製剤への応用(コスモステクニカルセ) 鈴木敏幸
 10. 洗浄の基礎と応用(花王) 坂井隆也
 11. レオロジー入門 (日本ペイントコーポレートソリューションズ) 井賀充香
- ※参加者には、教科書「第4版 現代界面コロイド化学の基礎—原理・応用・測定ソリューション(丸善出版)」を無料で進呈いたします。

参加費 部会員 30,000円, 日化・協賛学会員 35,000円, 非会員 40,000円, 学生 10,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 第38回現代コロイド・界面化学基礎講座 事務局 E-mail: jigyokikaku_01@colloid.csj.jp <https://colloid.csj.jp/202203/learning-38th/>

第32回万有福岡シンポジウム

—有機合成化学の多様性:
独創的研究が拓く科学と技術—

主催 万有福岡シンポジウム組織委員会

後援 日本化学会

会期 6月4日(土)

開催方式 オンライン・対面併催

会場 九州大学伊都キャンパス椎木講堂
もしくは九州大学馬出キャンパス医学部百年講堂 (福岡市西区元岡744) もしくは福岡市東区馬出3-1 [交通] 下記HP参照

参加申込締切 下記HP参照

講演

1. グアニジナルカロイド類の合成 (東農工大院工) 長澤和夫
2. 有機結晶を利用したキラル物質創成 (千葉大院工) 坂本昌巳
3. 高周期14族元素低配位化合物による小分子活性化反応 (筑波大数理物質・TREMS) 笹森貴裕
4. 生体膜と分子集合体の化学 (阪大院理) 村田道雄
5. キラルリン酸を用いた触媒反応の新展開 (学習院大理) 秋山隆彦

ポスター発表 20件程度 (MSD生命科学財団HPを参照)

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 816-8580 春日市春日公園6-1 九州大学先端物質化学研究所 友岡克彦, 井川和宣 電話 (092) 583-7809 E-mail: banyu-fukuoka32@cm.kyushu-u.ac.jp <https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/category/symp/fukuoka>

炭素材料学会先端科学技術講習会2022

二次電池と炭素材料の 現状と今後

主催 炭素材料学会

協賛 日本化学会

会期 6月7日(火) 10時30分~17時

開催方式 対面式

会場 大田区産業プラザPiO (大田区南蒲田1-20-20) [交通] 京浜急行「京急蒲田」駅

より徒歩約3分

参加申込締切 5月31日(火)

参加費 学会会員 25,000円, 日本化学会会員 25,000円, 非会員 35,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 162-0801 新宿区山吹町358-5 炭素材料学会 講習会ヘルプデスク 山本 FAX (03) 5227-8632 E-mail: tanso-koshukai@conf.bunken.co.jp https://www.tanso.org/event/academic/event2022/training_2022/

日本膜学会第44年会

主催 日本膜学会

協賛 日本化学会

会期 6月9日(木), 10日(金)

開催方式 オンライン・対面併催

会場 口頭発表: 早稲田大学121号館(研究開発センター。新宿区早稲田鶴巻町513 [交通] 東京メトロ東西線「早稲田」駅から徒歩5分) とオンラインを併用したハイブリッド開催, もしくは完全オンライン開催。ポスター発表: 完全オンライン開催

参加申込締切 事前参加申込締切: 5月30日(月), 以後は当日参加扱いになります。

例年どおり人工膜, 生体膜, ならびに境界領域と, 膜学の広範囲な内容を含む年会を企画しております。基礎から応用まで膜の科学, 技術に関心をもちの皆様のご参加をお待ちしております。

1. 特別講演: ムーンショット型研究開発事業 窒素循環の課題とその解決法としての膜分離技術への期待 (仮題) (産総研) 川本 徹
2. 特別講演: 赤血球膜と赤血球の変形能~酸化ストレスと血液レオロジー (九大) 丸山 徹
3. 人工膜シンポジウム1: 量子ビームで拓くイオン交換膜の未来オーガナイザー: (量子研) 八巻徹也
4. 人工膜シンポジウム2: 膜による水処理技術を展望するⅡ (仮題) オーガナイザー: (栗田工業) 川勝孝博, (東レ) 谷口雅英, (工学院大) 赤松憲樹
5. 境界領域シンポジウム: 人工酸素運搬体の最前線 (仮題) オーガナイザー: (東大) 伊藤大知
6. 生体膜シンポジウム: 脂質膜・生体膜を見る・計測する (仮題) オーガナイザー: (富山大) 中野 実

参加費 第1次事前参加登録 (入金支払締切日5月6日(金)): 主催・協賛学会員 8,000円, 非会員 25,000円, 学生 5,000円, 法人 (5名まで参加可, 法人会員の企業様に限りません。) 30,000円/第2次事前参加登録 (入金支払締切日5月30日(月)), 主催・協賛学会員 9,000円, 非会員 26,000円, 学生 6,000円, 法人 30,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 113-0033 文京区本郷5-26-5-702 日本膜学会事務局 担当 渡部 電話 (03) 3815-2818 E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp <http://www.maku-jp.org/symposium/>

熱測定オンライン講習会 2022

主催 日本熱測定学会

共催 日本化学会

会期 6月17日(金)~9月16日(金)

開催方式 オンライン

参加申込締切 各回の1週間前

「熱量測定・熱分析ハンドブック(第3版)」をベースにした講習会です。テーマごとに、基礎から応用にわたって解説します。希望する回を個別にお申し込みいただけます。講習会終了後もオンデマンドによる視聴が一定期間可能です。

第1回(6月17日(金)):[熱分析基礎講座]
熱測定の基礎, DSCの原理, TG-DTAの原理, 公定法

第2回(7月8日(金)予定):[応用測定と解析]

DSCの応用測定(温度変調DSC/高速DSC), 複合熱分析, 固相反応の速度論的解析

第3回(8月5日(金)予定):[高分子・有機物]

高分子, 樹脂(硬化・劣化), 液晶

第4回(8月26日(金)予定):[食品]
チョコレート・脂質, 澱粉, 食品の品質制御, 食品プラスチック容器・包装

第5回(9月16日(金)予定):[バイオ]

タンパク質, 核酸, 微生物

※一部、講習内容が変わる場合があります。最新情報は下記HPでご確認下さい。

参加費 《各回申込(1回あたり)》主催・共催団体会員6,000円(学生1,000円), 協賛学協会9,000円(学生1,500円), 非会員12,000円(学生2,000円)《全5回一括申込》主催・共催団体会員20,000円(学生4,000円), 協賛学協会32,000円(学生6,000円), 非会員40,000円(学生8,000円)

※日本熱測定学会に同時にご入会いただいた場合は、会員料金での参加となります(年会費:正会員7,000円, 学生会員3,000円)。
※参加申込と同時に「熱量測定・熱分析ハンドブック(第3版)」をご購入の場合は、上記の価格+8,800円になります。

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 101-0032 千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601 日本熱測定学会 事務局 土信田裕子 電話(03)5821-7120 FAX(03)5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org/2022onlinelecture/

第372回液体クロマトグラフィー研究懇談会

—バイオ医薬品分析におけるMSの挑戦—

主催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

協賛 日本化学会

会期 6月23日(木)13時~17時

開催方式 オンライン

参加申込締切 6月16日(木)(入金締切時刻:15時まで)

これまで主流であった低分子医薬に加え、近年、核酸やペプチド医薬に代表される中分子医薬、抗体医薬に代表される高分子医薬などの様々なモダリティの開発が活発に進められている。これら医薬品の開発に欠くことのできない多種多様な創薬研究において、質量

分析計の役割は極めて高い。本例会では、バイオ医薬品等の分析に焦点をおき、質量分析メーカを中心に、現状の進展についてご講演いただきます。

講演主題概説(オーガナイザー)(東レリサーチセ) 竹澤正明

1. 最新技術によるバイオ医薬品分析(エビーサイエックス) 加藤尚志

2. Smart MSによるバイオ医薬品の特性解析(日本ウォーターズ) 矢田絵都子

3. 多次元HPLC-MSを利用したバイオ医薬品の最新分析事例(アジレント・テクノロジー) 瀬崎浩史(LC分析士初段, LC/MS分析士初段)

4. 新たな創薬モダリティ開発における高分解能MSの活用(サーモフィッシャーサイエンティフィック) 永島良樹

5. nSMOL Antibody BA Kitを用いた抗体医薬品のLC-MS/MS高感度定量(島津製作所) 渡邊 淳

6. イオンモビリティを利用したバイオ医薬品の分析(東レリサーチセ) 竹澤正明

7. バイオ医薬品に求められるMS(東理大) 中村 洋

参加費 3,000円

参加申込方法 郵送等

申込先・問合せ先 141-0031 品川区西五反田1-26-2 五反田ハイツ304号(公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 電話(03)3490-3351 E-mail: masaaki.takezawa.f9@trc.toray https://forms.gle/NuRfgPaL7ZBvpSP47

第55回天然物化学談話会 実行委員会

主催 第55回天然物化学談話会実行委員会

後援 日本化学会

会期 6月24日(金), 25日(土)

開催方式 オンライン

参加申込締切 下記HP参照

招待講演 安藤弘宗(岐阜大IGCORE), 大井貴史(名大ITbM, 名大院工), 大嶋孝志(九大院薬, 九大グリーンファルマ), 叶直樹(星薬大医薬研), 北将樹(名大院生命院), 佐藤隆章(慶大理工), 島本啓子(サントリール生科財団), 二本史朗(京大化研)

奨励賞受賞講演 井貫晋輔(京大院薬), 植田浩史(東北大院薬), 大好孝幸(筑波大数理)

昼ゼミ 金本昭彦(OP BIO FACTORY, Algae Nexus), 進藤直哉(九大院薬)

定員 170名(予定)。応募者多数の場合には参加人数の調整を行う場合があります。

参加費 一般4,000円, 学生2,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 816-8580 春日市春日公園6-1 九州大学先端物質化学研究所 井川和直 電話(092)583-7809 E-mail: danwa55@cm.kyushu-u.ac.jp http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/manufac/55danwakai/index.html

第54回有機金属若手の会 夏の学校

主催 有機金属若手の会

協賛 日本化学会

会期 6月27日(月)~29日(水)

開催方式 対面式

会場 淡路夢舞台国際会議場(淡路市)[交通] 山陽本線「舞子」駅からバスで約15分

参加申込締切 定員(100名)になり次第

招待講演 茶谷直人(阪大), 市川淳士(筑波大), 大嶋孝志(九大)

依頼講演 神川 憲(阪府大), 北山健司(ダイセル), 斎藤雅一(埼玉大), 新谷 亮(阪大), 星本陽一(阪大), 三浦智也(岡山大), 八木亜樹子(名大), 吉田 優(東理大)

若手講演 博士課程学生および若手研究者による口頭発表(4件程度)

ポスター発表 大学院学生によるポスター発表(対面形式, 100件程度, 先着順)

※若手講演, ポスター発表を募集します。参加申込時にお知らせ下さい。詳細については下記HPにてご確認下さい。

参加費 33,000円(食費, 宿泊費含む)

参加申込方法 E-mail

申込先・問合せ先 第54回有機金属若手の会夏の学校事務局 電話(06)6879-7386 E-mail: wakate54@chem.eng.osaka-u.ac.jp https://sites.google.com/view/omwakate54

第40回高分子表面研究会 基礎講座

—表面をつくる・みる・つかう—

主催 高分子学会高分子表面研究会

協賛 日本化学会

会期 6月30日(木)9時55分~16時50分

開催方式 対面式

会場 Webex Meetingsによるオンライン開催

参加申込締切 6月23日(木)12時

1. 開会の挨拶

基礎講座

2. 高分子表面・界面の基礎(東工大) 扇澤敏明

3. 高分子表面・界面を見る分析・評価(1): 振動分光法と電子分光法(東レリサーチセ) 松田和夫

4. 高分子表面・界面を見る分析・評価(2): TOF-SIMSとSPM(旭化成) 菊間 淳

5. 高分子表面・界面の分析・評価(3): 量子ビームを用いた構造解析(日本原子力研究開発機構・高エネルギー加速器研究機構) 青木裕之

特別講座

6. 光応答システム構築における空気側界面の活用(名大) 関 隆広

7. 質問コーナー

8. 閉会の挨拶

参加費 (1)企業14,300円, (2)大学・官公庁5,500円, (3)学生2,200円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 104-0042 中央区入船3-10-9 公益社団法人高分子学会 第40回高分子表面研究会基礎講座係 電話(03)5540-3770 FAX(03)5540-3737 E-mail: jigyo@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/

プラズマ分光分析研究会 2022 筑波セミナー

—プラズマ分光分析法の基礎を学ぼう—

主催 プラズマ分光分析研究会
協賛 日本化学会
会期 6月30日(木)10時~7月1日(金)16時15分
開催方式 オンライン・対面併催
会場 つくば国際会議場中会議室202およびZoomによるオンライン(つくば市竹園2-20-3) [交通] つくばエクスプレス「つくば」駅より徒歩約10分
参加申込締切 会場参加:6月22日(水), オンライン:当日参加も可能

6月30日(木)

1. ショートコース: アルゴン ICP の発生と分析試料の励起・イオン化をはじめから(東工大未来産業技術研) 沖野晃俊
2. ショートコース: 試料分解と化学分離の極意(筑波大アイソトープ環境動態研究セ) 高久雄一
3. アフタヌーン・セミナー

7月1日(金)

4. ショートコース: ICP-OES, EDXRF を上手に使うコツ(堀場製作所) 田中 悟
5. ショートコース: ICP-MS を上手に使うコツ(パーキンエルマー・ジャパン) 小林恭子
5. ショートコース: 測定値の不確かさについて(産総研計量標準総合セ) 城野克広
6. ショートコース: レーザーアブレーションについて(産総研計量標準総合セ) 大畑昌輝
7. 質問コーナー

※アフタヌーン・セミナー: HP (<http://plasma-dg.jp/seminar/22tsukuba/program22.html>) 参照

※質問コーナー: プラ研事務局まで, お気軽にお寄せ下さい。

参加費 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 2,000 円, 学生非会員 4,000 円

※要旨集のみの購入は 1 冊 1,000 円となります。※当研究会の年会費は 3,000 円(学生会員 1,000 円)です。全講演会要旨集の無料送付等の特典がありますので, ぜひこの機会にご入会下さい。

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 226-8502 横浜市緑区長津田町4259-J2-32 13階1303号室 東京工業大学未来産業技術研究所沖野研究室内 プラズマ分光分析研究会事務局 大関杏子 電話/FAX (045)924-5688 E-mail: ozeki@plasma.es.titech.ac.jp <https://plasma220630.peatix.com/>

小中学生のための化学実験講座

—訪問実験—

主催 鶴岡工業高等専門学校 日本化学会東北支部

共催 日本化学会

会期 7月1日(金)9時~11月30日(水)17時

開催方式 対面式

会場 山形県内各中学校校内外各施設(山形県内各中学校各施設) [交通] 山形県内各中学校各施設

参加申込締切 6月30日(木)まで。定数にな

り次第

担当者が中学校に Outreach, 上記のテーマ等で生徒に直接実験を指導します。最新のテーマ一覧につきましては鶴岡高専の HP に随時掲載していきます。実験器具類も主催者で用意しますが, 予算の関係上, 実験道具の準備をお願いする場合があります。テーマによっては, 実施内容を中学校の先生に指導し, 生徒に実施していただく方法も可能です。E-mail でお問い合わせ下さい。

1. 温度で色が変わる人工イクラを作ってみよう, 2. スライムカーボン電池でオルゴールをならしてみよう, 3. 紙オムツの謎(高吸水性高分子), 4. 刑事ドラマに出てくるルミノール化学発光について知ってみよう, 5. カラフルな人工イクラの作成してみよう, 6. オリジナルレインボースコープを作って光の成分について学ぼう, 7. 暗やみで光る生分解アクセサリーを作って光る仕組みについて考えてみよう, 8. あなたが被験者(目の仕組み), 9. 虹色に輝く高分子液晶, 10. 果物の香りをつくる, 11. 野菜の中に含まれる DNA を取り出してみよう, 12. くだもので発電, 13. ショウノウで走る船, 14. 酵素の働きと性質

参加費 無料

参加申込方法 郵送等

申込先・問合せ先 997-8511 鶴岡市井岡字沢田 104 上條利夫 電話(0235)25-9163 E-mail: kamijo@tsuruoka-nct.ac.jp <https://www.tsuruoka-nct.ac.jp/jikken/>

第 38 回物性物理化学研究会

—製剤・分析技術の新潮流

—低分子からバイオ医薬品まで—

主催 物性物理化学研究会

協賛 日本化学会

会期 7月7日(木)10時25分~16時50分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 京都大学宇治おうばくプラザきはだホール(ハイブリッド形式)(宇治市五ヶ庄) [交通] JR「京都」駅から JR「黄檗」駅下車, 京阪「京橋」駅・京阪「出町柳」駅から京阪「黄檗」駅下車

参加申込締切 6月23日(木)

1. Quality by Design に基づく製剤開発を指向した製剤物性研究(富山大学術研究) 大貫義則
2. 分光データのケモメトリックス・機械学習による医薬品製造の Smart Process Control(横河電機マーケティング本部イノベーションセ) 服部祐介
3. 製剤データ解析: いかに品質を予測し管理するか(京大院情報) 加納 学
4. バイオ医薬品の品質評価とレギュラトリーサイエンス(国立医薬品食品衛生研究所) 石井明子
5. 抗体製剤開発における凝集体及び粘性課題に対する取り組み(中外製薬生産工学研究) 福田正和
6. 抗体医薬品の分析技術と臨床応用(京大院薬・附属病院薬剤部) 米澤 淳

※なお, 新型コロナウイルス感染状況によっては, 完全オンライン開催となる場合があります。

参加費 一般: 主催・共催・協賛学会員 5,000 円, その他 6,000 円, 学生: 2,000 円

(講演要旨集代含む)

参加申込方法 氏名, 所属, 連絡先(住所・E-mail), 参加形式(現地参加またはオンライン参加)を記入し, 6月23日(木)までに FAX, E-mail または郵送にてお申し込み下さい。原則予約申込とし, 当日申込は受け付けません。会費は, 銀行振込(三菱東京 UFJ 銀行聖護院支店 普通口座番号 5129054 物性物理化学研究会事務局 松崎勝巳(ブッセイ/ツリ マツザキカツミ))をして下さい。
世話人 第 38 回物性物理化学研究会 富山大学 中野 実
申込先・問合せ先 606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46-29 京都大学大学院薬学研究科 松崎勝巳 電話/FAX (075)753-4578 E-mail: maku22@pharm.kyoto-u.ac.jp <https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/busseif/>

2022 年度「ぶんせき講習会」(実践編)

第 67 回機器による 分析化学講習会

—ICP 発光分光, 蛍光 X 線および

示差走査熱量計を基礎から学び実践する—

主催 日本分析化学会近畿支部 日本分析化学会近畿分析技術研究懇話会

協賛 日本化学会近畿支部

会期 7月8日(金)9時50分~17時

開催方式 対面式

会場 (株)日立ハイテックサイエンス・サイエンスソリューションラボ大阪(大阪市淀川区宮原3-3-31 上村ニッセイビル18F) [交通] 地下鉄御堂筋線「新大阪」駅4番出口より徒歩5分

参加申込締切 7月1日(金)定員(20名)になり次第。7月2日(土)以降のキャンセルは不可

1. 講義: メーカー技術者による測定原理の基礎(日立ハイテックサイエンス)
(1)最新機器の紹介(ゼーマン原子吸光, マルチ/シーケンシャル ICP-OES) 夏井克己
(2)蛍光 X 線分析の基礎と応用(膜厚測定とマッピング) 泉山優樹
(3)熱分析 TG/DTA 及び DSC の基礎と応用(試料観察分析) 高橋秀裕
2. 講義: プラズマ分光分析法による超微量分析技術の進歩と将来 一温故知新に学ぶ分光分析(関西学院大) 千葉光一

3. 講義: DSC を用いたタンパク質の安定性解析(京府大) 高野和文

4. 実習(日立ハイテックサイエンス)
・誘導結合プラズマ(ICP)発光分析
・蛍光 X 線分析
・熱分析

参加費 日本化学会・主催・協賛団体所属学会員 11,000 円, 学生 6,000 円, 会員外 21,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センター6階(公社)日本分析化学会近畿支部 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: mail@bunkin.org <http://www.bunkin.org/>

新学術領域 「化学コミュニケーションのフロンティア」 取りまとめシンポジウム

主催 新学術領域「化学コミュニケーションのフロンティア」総括班

共催 日本化学会

会期 7月9日(土)9時~17時

開催方式 対面式

会場 京都大学大学院薬学研究科藤多記念ホール(京都市左京区吉田下阿達町46-29)
[交通] 京阪電車「神宮丸太町」駅5号出口より徒歩8分

参加申込締切 6月23日(木)

班員(計画研究11名, 公募研究(第2期)31名)による成果発表

※詳細は下記の本領域HPにてお知らせします。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46-29 新学術領域「化学コミュニケーションのフロンティア」総括班事務局
電話(075)753-4524 E-mail: fr_chemcomm@pharm.kyoto-u.ac.jp https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/fr_chemcomm/

夢・化学-21 化学への招待 北海道大学・道内大学 化学系への2日体験入学

主催 日本化学会北海道支部

会期 8月1日(月), 2日(火)

開催方式 オンライン

参加申込締切 6月15日(水)

1日目

講義1. 光と魔法の分子材料(室蘭工大) 中野英之

講義2. 化学とバイオの力で創る分子ロボット(北大院理) 角 五彰

2日目

動画配信など

対象 高校生

参加費 無料

参加申込方法 Web 下記HPよりお申し込み下さい。E-mailにてお問い合わせの場合、タイトルは必ず「体験入学問い合わせ」にてお願いします。

申込先・問合せ先 060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院 応用化学部門内 日本化学会北海道支部事務局
電話(080)2862-6084 FAX(011)706-6598 E-mail: csjh@nifty.com https://hokkaido.csj.jp/

第5回ハロゲン結合 国際シンポジウム

—ISXB5—

主催 第5回ハロゲン結合国際シンポジウム実行委員会

共催 日本化学会

会期 11月6日(日)17時~10日(木)13時

開催方式 対面式

会場 かずさアーク(木更津市かずさ鎌足2-3-9) [交通] JR「木更津」駅バス26分

参加申込締切 事前参加登録: 7月31日(日), 通常参加登録: 会議当日

招待講演者

Lee Brammer (Univ. Sheffield, UK), Curt P. Berlinguette (The Univ. British Columbia, Canada), Orion Berryman (Univ. Montana, USA), Matthias Bickelhaupt (VU Univ. Amsterdam, The Netherlands), Dominic Cincic (Univ. Zagreb, Zagreb), Marijana Đaković (Univ. Zagreb, Croatia), Mate Erdelyi (Uppsala Univ., Sweden), Catharine Esterhuysen (Stellenbosch Univ., South Africa), Antonio Frontera (Univ. de las Islas Baleares, Spain), Atsushi Goto (NTU, Singapore), Kari Rissanen (Univ. Jyväskylä, Finland), Changhua Li (Nankai Univ., China), Pierangelo Metrangolo (Politecnico di Milano, Italy), Satoshi Minakata (Osaka Univ., Japan), Norie Momiyama (Inst. Molecular Science, Japan), Boris Nachtsheim (Univ. Bremen, Germany), Norio Shibata (Nagoya Inst. Tech., Japan), Seiji Tsuzuki (Yokohama National Univ. & The Univ. Tokyo, Japan), Xiao-Song Xue (Shanghai Inst. Org. Chem., China), Ying-Yeung Yeung (The Chinese Univ. Hong Kong, China)

参加費 一般30,000円(事前), 35,000円(通常), 学生20,000円(事前), 25,000円(通常)

懇親会 11月8日(火)18時

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学 CIRIC ISXB5 海宝龍夫
電話(043)445-7920 E-mail: tkaiho0209@gmail.com https://fiu-iodine.org/isxb5/